令和6年度　ネットゼロフォーラムしが

温室効果ガス排出量の「見える化」分科会

事業所での温室効果ガス排出量の削減のためには、まず現状の排出量の把握「見える化」が必要です。

令和6年度のネットゼロフォーラムしがでは、企業・団体等の方を対象に、「温室効果ガス排出量の見える化からの排出削減・イメージやブランド力向上」をテーマとして、分科会を開催します。

各回の講演終了後に「情報交流会」を開催します（参加希望の方のみ）。

分科会A　自社から排出される温室効果ガス排出量の見える化

～見える化から具体的な排出削減へ～

	日時／会場	主な内容
第1回	10月2日（水）13:30～16:00 （会場：大津市民会館 小ホール）	■ なぜ見える化が必要か（独立行政法人中小企業基盤整備機構 近畿本部） ■ 省エネの進め方と省エネ診断（一般財団法人省エネルギーセンター）
第2回	11月15日（金）13:30～15:30 （会場：草津市立市民交流プラザ 大会議室）	■ 算定ツール、排出削減方法の紹介（株式会社しがぎんエナジー） ■ 企業による取組事例の紹介
第3回	12月19日（木）13:30～15:30 （会場：滋賀県庁 新館7階大会議室）	■ 企業による取組事例の紹介（トヨタ紡織滋賀株式会社） ■ 算定ツール、排出削減方法の紹介（e-dash株式会社）

分科会B　商品・サービスのライフサイクル全体から排出される温室効果ガス排出量の見える化

～見える化からイメージ・ブランド力の向上、排出削減に向けた課題の特定・対策検討へ～

	日時／会場	主な内容
第1回	10月11日（金）13:30～15:40 （会場：大津市民会館 小ホール）	■ なぜ見える化が必要か（株式会社日本総合研究所） ■ 企業による取組事例の紹介（甲子化学工業株式会社）
第2回	11月19日（火）13:30～15:30 （会場：草津市立市民交流プラザ 大会議室）	■ 企業による取組事例の紹介（オプテックスグループ株式会社） ■「削減貢献量」の算定方法の紹介（パシフィックコンサルタンツ株式会社）
第3回	12月20日（金）13:30～15:30 （会場：滋賀県庁 新館7階大会議室）	■ 企業による取組事例の紹介（岩谷産業株式会社） ■「カーボンフットプリント」の算定方法の紹介（株式会社ゼロボード）

【問合せ先／申込み先】
有限会社とーく（担当：堤、進）
TEL：077-525-9340 ／ E-mail：talk3@fol.hi-ho.ne.jp

【主催】
滋賀県総合企画部CO_2ネットゼロ推進課（担当：竹内）
TEL：077-528-3090 ／ E-mail：cg02@pref.shiga.lg.jp

お申込みは、滋賀県HP「ゼロナビしが」の「ネットゼロフォーラムしが」のページ内の「申込みフォーム」からお願いします

講演企業・団体および講演内容のご紹介

分科会A　自社から排出される温室効果ガス排出量の見える化

～見える化から具体的な排出削減へ～

第1回	独立行政法人 中小企業基盤整備機構 近畿本部	国の中小企業政策の中核的な実施機関として、中小企業・小規模事業者の成長をサポート。分科会では、なぜ温室効果ガス排出量の見える化や排出削減の取組を進めていく必要があるのか、その背景や実施方法等についてご講演いただきます。
	一般財団法人 省エネルギーセンター	省エネ等を通じてカーボンニュートラルの実現に向けて貢献する技術者集団であり、「省エネ最適化診断」「無料講師派遣」等のサービスを提供。分科会では、事業所における省エネの進め方や省エネ診断事例等についてご講演いただきます。
第2回	株式会社しがぎんエナジー	令和6年4月に滋賀銀行の100%出資子会社として設立。企業向けの脱炭素コンサルティング等を行う。分科会では、独自のCO_2排出量算出・管理サービス「未来よしサポート」や排出量削減に向けたコンサルティングサービス等についてご講演いただきます。
第3回	トヨタ紡織滋賀株式会社	自動車用フィルター・パワートレーン機器部品、内外装部品のメーカー。令和2年度に「滋賀県低炭素社会づくり賞」を受賞。分科会では、全社員の環境に対する意識付けを目的に設置した「環境道場」など、見える化や排出削減に向けた取組についてご講演いただきます。
	e-dash株式会社	CO_2排出量の見える化・削減まで総合的にサポート。電気やガス等の請求書をアップロードするだけでスコープ1・2を見える化し、削減提案から実行まで支援。スコープ3もサポート可能。分科会では、見える化から削減への実施方法についてご講演いただきます。

※　分科会Aの第1回目は、独立行政法人中小企業基盤整備機構 近畿本部との共催

分科会B　商品・サービスのライフサイクル全体から排出される温室効果ガス排出量の見える化

～見える化からイメージ・ブランド力の向上、排出削減に向けた課題の特定・対策検討へ～

第1回	株式会社日本総合研究所	シンクタンク・コンサルティング・ITソリューションの3つの機能を有する総合情報サービス企業。分科会では、なぜ見える化が必要なのか、専門家から見た「カーボンフットプリント」や「削減貢献量」をめぐる最新動向についてご講演いただきます。
	甲子化学工業株式会社	プラスチック部品や製品のメーカー。令和5年度に、環境省「製品・サービスのカーボンフットプリントに係るモデル事業」へ参加し、環境配慮型ヘルメット「ホタメット」を算定。分科会では、カーボンフットプリント算定に関する経営戦略等についてご講演いただきます。
第2回	オプテックスグループ 株式会社	グループ会社のオプテックス株式会社では、防犯用・自動ドア用等各種センサーを開発。分科会では、「しが発低炭素ブランド」認定製品である無駄開き抑制自動ドアセンサー「eスムースセンサー」を始めとした、各種「他者貢献製品」の削減貢献量を算定した経緯や戦略等についてご講演いただきます。
	パシフィックコンサルタンツ 株式会社	社会インフラに関わるコンサルタントとして、幅広い領域において社会課題の解決と新たな価値の創造に取り組む。平成25年度に「滋賀県製品等を通じた貢献量評価手法」を確立。分科会では、本県の「貢献量評価」の算定方法等についてご講演いただきます。
第3回	岩谷産業株式会社	総合エネルギーと産業ガスを基幹事業とし幅広い分野で事業展開。イワタニカートリッジガス株式会社滋賀工場で製造した「イワタニカセットガス」の原材料調達から廃棄までのCO_2排出量を算定。分科会では、その経緯や戦略等についてご講演いただきます。
	株式会社ゼロボード	温室効果ガス排出量算定・可視化クラウドサービスを提供。国の「サプライチェーン全体でのカーボンニュートラルに向けたカーボンフットプリントの算定・検証等に関する検討会」の委員。分科会では、カーボンフットプリントの算定方法等についてご講演いただきます。